（実施要項のＶ－１（５）③に該当する者）

講 師 等 勤 務 歴 申 告 書

校　種　等 （○で囲むこと）	受験教科 （科目）	フリガナ 氏　　名
小・中・高・特小 特中・特高・養教		

（必ず**自署**すること。）

勤　務　校	職名【講師又は養護助教諭】	勤　務　期　間	勤務月数
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
合　計　勤　務　月　数			**月**

記入上の注意

1　受験する校種、教科（科目）にかかわらず、**平成２９年４月１日から令和４年５月３１日まで**青森県内の国立学校又は公立学校の講師（任期付・臨時）又は養護助教諭として勤務した期間を古いものから順に記入すること。

2　青森県内の国立学校及び市町村費の講師又は養護助教諭の勤務期間については、別途**「職歴証明書」**を添付すること。

3　「勤務月数」の欄は、各欄に月単位で記入すること。勤務月数については、１日でも任用のあった月を、１月とする。なお、同一の月に２つ以上の任用がある場合は、重複しないように、いずれか１つの任用に含めるものとする。

（例）① 任用期間 令和４年４月１２日～令和４年９月２日の場合

勤務歴として申告できるのは令和４年５月３１日までなので、勤務月数は令和４年４月１２日～令和４年５月３１日までの２月とする。

② 任用期間 令和３年６月１日～令和３年９月２日…Ａ校

令和３年９月１２日～令和３年１２月２日…Ｂ校

Ａ校の勤務月数は６月～９月までの４月とする。

Ｂ校の勤務月数は、９月についてはＡで算入されているので、１０月～１２月までの３月とする。

4　**申告内容が事実と異なる場合、又は資格要件を満たさないことが判明した場合は、採用内定を取り消す**ことがあるので、内容をよく確認して申込みすること。